

衛研第3 - 46号
平成29年 2月15日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 結核の届出状況（月報）
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 6 週（平成 29 年 2 月 6 日～平成 29 年 2 月 12 日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 3 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 2 人、梅毒 2 人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(47.06 35.14：図 1 及び図 2)の定点当たり報告数は前週より減少したが、依然として多い状況にある。保健所別では、狭山(51.73 49.73)、幸手(54.93 46.64)、越谷市(56.85 39.23)、熊谷(58.43 39.07)、草加(57.82 38.29)保健所管内で多い状況が続いている。流行性耳下腺炎(0.54 0.42)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、川越市(1.25)、狭山(0.88)保健所管内からの報告が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.63 2.15)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少したが、保健所別では、春日部(4.83)、熊谷(4.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎 3 人、流行性角結膜炎 10 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 6 人、クラミジア肺炎 2 人、感染性胃腸炎（ロタウイルス）2 人、インフルエンザ（入院）37 人(前週 40 人)の報告があった(図 3)。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	E 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	1 人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	3 人（病型 腸管アメーバ症 2 人、 腸管外アメーバ症 1 人）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	急性脳炎	1 人（病原体 インフルエンザウイルス A）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人（血清群 A 群 1 人、G 群 1 人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
	梅毒	2 人（病型 早期顕症 期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人）
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 人（菌種名 <i>Enterococcus faecium</i> ）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報

今週のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週より減少(47.06 35.14)したが、いまだ流行の最中にあり、引き続き注意が必要である(図1)。定点当たり報告数が30.00を上回っている保健所は、12保健所であり県内の3/4を占めている(図2)。

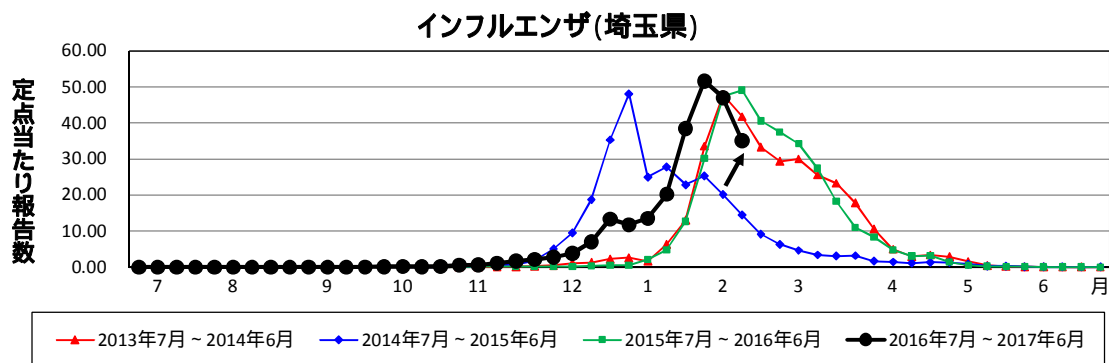


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移 (2013年7月～)

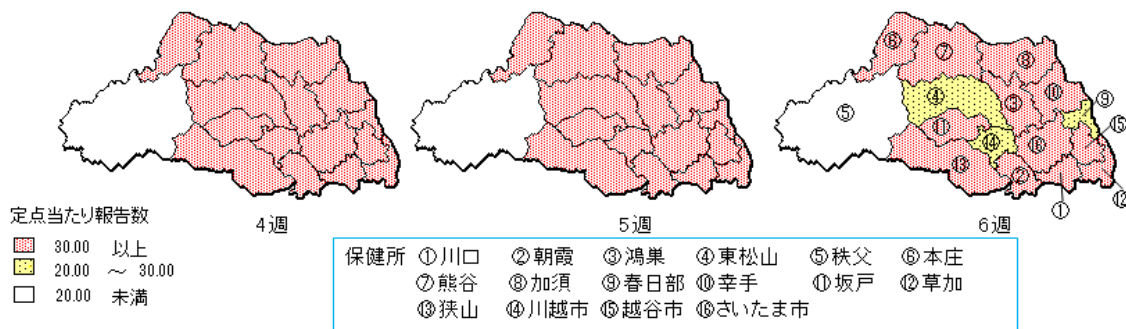


図2 保健所別 定点当たり報告数の推移 (2017年4週～6週)

基幹定点報告対象疾患のインフルエンザ入院は、基幹定点9カ所から37人の報告があった。年齢階級別では70歳以上が24人と最も多く、次いで0-4歳の5人であった(図3)。

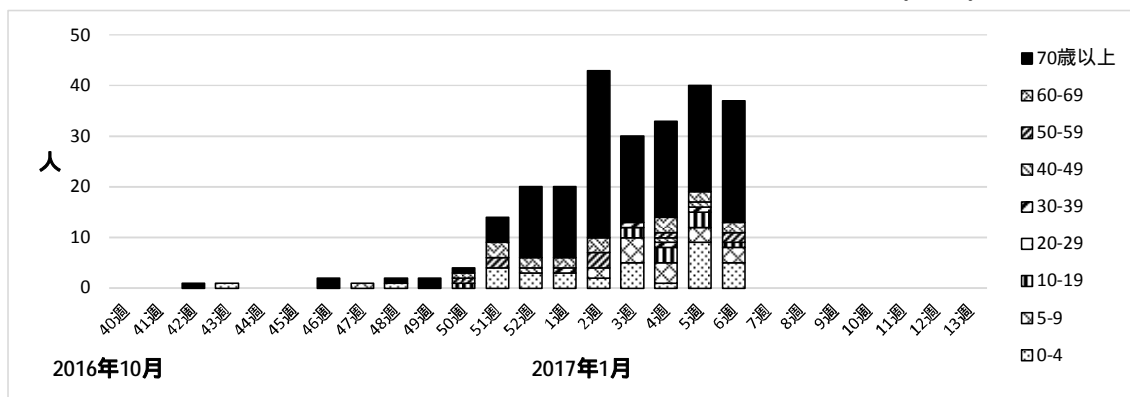


図3 今シーズンのインフルエンザ入院 年齢階級別報告数 (第40週～)

インフルエンザ流行情報(続き)

第3週(1月16日～1月22日)以降の4週間に、13保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は104件で、A香港型(AH3)が86件と82.7%を占め最も多く、次いで、B型ビクトリア系統の検出数が10件(9.6%)と多い(表1)。

また、年齢階級別ではA香港型(AH3)はすべての年齢階級から検出された。B型ではビクトリア系統は30歳未満の年齢階級から検出され、山形系統は10歳未満、30歳代及び40歳代から検出された(表2)。

表1. 第3～6週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	3w	4w	5w	6w	4週の合計
AH1pdm09	-	-	1	-	1
AH3	29	31	24	2	86
Bビクトリア系統	4	5	1	-	10
B山形系統	2	1	3	1	7

(-:0)

表2. 第3～6週に採取されたインフルエンザウイルスが検出された患者の年齢階級

型	年齢階級									
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
AH1pdm09	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AH3	15	23	18	6	2	4	3	7	2	5
Bビクトリア系統	1	3	4	1	1	-	-	-	-	-
B山形系統	2	3	-	-	-	1	1	-	-	-
計	19	29	22	7	3	5	4	7	2	5

他にAH3で年齢不明1人

(-:0)

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第6週)

(2017年2月14日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1372	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		6	174				
四類感染症							
E型肝炎	1	2	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
A型肝炎		1	6	ニパウイルス感染症			
エキノкокクス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	6	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症			
デング熱		3	13	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	3	11	44	侵襲性肺炎球菌感染症	2	20	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘*		1	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	50	先天性風しん症候群			
急性脳炎	1	7	38	梅毒	2	16	190
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		2	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	3	9
ジアルジア症			1	風しん		1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	9	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲 B型 C型 D型 その他
累計

累計は診断日で集計
* 2016年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(1月分)

1月の届出数は、患者69人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者22人の計92人で、前月より減少し、前年同月の129人より少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年1月～2017年1月)

	2016年*												2017年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計**
総計	129	115	106	102	107	125	127	129	132	116	78	106	92	92
年齢階級														
10歳未満	2	2	1	1	3	5	3	2	7	3	1	4	0	0
10歳代	1	5	0	1	2	2	1	3	1	2	1	0	1	1
20歳代	4	12	8	17	16	13	19	11	7	11	8	9	7	7
30歳代	7	8	9	8	6	8	9	14	14	7	6	9	11	11
40歳代	13	22	15	7	10	13	14	17	10	11	9	12	5	5
50歳代	14	8	7	10	10	14	14	14	24	17	13	15	6	6
60歳代	26	16	16	10	19	17	16	20	20	17	9	18	23	23
70歳代	32	16	25	25	19	20	14	25	19	25	11	20	17	17
80歳以上	30	26	25	23	22	33	37	23	30	23	20	19	22	22
性														
男	72	71	66	59	59	80	75	73	81	71	43	76	65	65
女	57	44	40	43	48	45	52	56	51	45	35	30	27	27
類型														
患者	70	77	73	83	71	88	87	91	100	72	52	58	69	69
感染症死亡者の死体	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	2	0	0	2	3	0	2	1	0	0	1	4	1	1
無症状病原体保有者	56	38	33	17	32	36	38	37	32	43	25	44	22	22
病型														
肺結核	43	58	51	62	54	60	73	74	75	55	36	45	51	51
肺結核及びその他の結核	6	7	7	5	4	3	3	2	5	5	2	2	5	5
その他の結核	22	12	15	16	14	26	11	15	20	13	14	11	13	13
疑似症患者	2	0	0	2	3	0	2	1	0	0	1	4	1	1
無症状病原体保有者	56	38	33	17	32	36	38	37	32	43	25	44	22	22

*:2016年の届出数は暫定値

** :2017年1月からの累積届出数

1月に診断された92人を病型別にみると、肺結核では60歳以上が39人で76.5%を占めた。無症状病原体保有者では10歳未満を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年1月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	51	5	13	1	22	92
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	2	1	1	0	3	7
30歳代	7	0	2	1	1	11
40歳代	2	1	0	0	2	5
50歳代	1	1	0	0	4	6
60歳代	9	1	7	0	6	23
70歳代	12	0	1	0	4	17
80歳以上	18	1	2	0	1	22

保健所	報告患者数										保健所別										平成29年2月6日～平成29年2月12日									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎	インフルエンザ (入院)									
全	8,856	25	31	340	760	56	14	7	47	-	-	67	3	10	-	-	6	2	2	37										
川	35.14	0.16	0.20	2.15	4.81	0.35	0.09	0.04	0.30	-	-	0.42	0.08	0.25	-	-	0.60	0.20	0.20	3.70										
川	832	6	10	41	91	4	1	-	1	-	-	3	1	8	-	-	*	*	*	*										
朝	34.67	0.40	0.67	2.73	6.07	0.27	0.07	-	0.07	-	-	0.20	0.20	1.60	-	-	*	*	*	*										
朝	647	-	2	27	43	2	1	2	6	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2										
朝	30.81	-	0.17	2.25	3.58	0.17	0.08	0.17	0.50	-	-	0.42	-	-	-	-	*	*	*	2.00										
鴻	577	3	4	16	42	6	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*										
鴻	30.37	0.25	0.33	1.33	3.50	0.50	-	0.08	0.08	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*										
東	239	-	-	11	17	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	2	-										
東	29.88	-	-	2.20	3.40	-	0.20	-	-	-	-	0.60	-	-	-	-	-	1.00	2.00	-										
株	91	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3										
株	18.20	-	-	0.67	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00										
本	226	-	2	2	9	1	-	1	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-										
本	32.29	-	0.50	0.50	2.25	0.25	-	0.25	0.75	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-										
熊	547	1	1	36	111	2	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1										
熊	39.07	0.11	0.11	4.00	12.33	0.22	-	-	0.11	-	-	0.22	-	-	-	-	-	-	-	1.00										
加	354	-	-	7	8	1	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*										
加	35.40	-	-	1.17	1.33	0.17	-	-	0.33	-	-	0.50	-	-	-	-	*	*	*	*										
春	256	1	3	29	24	5	1	-	4	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*										
春	25.60	0.17	0.50	4.83	4.00	0.83	0.17	-	0.67	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*										
幸	653	4	5	21	25	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	2										
幸	46.64	0.44	0.56	2.33	2.78	0.33	-	-	-	-	-	0.22	-	-	-	-	-	2.00	-	2.00										
坂	346	2	-	4	52	6	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7										
坂	34.60	0.33	-	0.67	8.67	1.00	-	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	7.00										
草	651	-	-	27	30	1	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*										
草	38.29	-	-	2.45	2.73	0.09	0.09	0.09	0.55	-	-	0.09	-	-	-	-	*	*	*	*										
狭	1,293	7	-	23	80	5	1	-	5	-	-	15	2	-	-	-	-	-	-	6										
狭	49.73	0.41	-	1.35	4.71	0.29	0.06	-	0.29	-	-	0.88	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00										
川	317	-	-	25	34	6	-	1	2	-	-	10	-	-	-	-	*	*	*	*										
川	24.38	-	-	3.13	4.25	0.75	-	0.13	0.25	-	-	1.25	-	-	-	-	*	*	*	*										
越	510	-	2	22	13	2	1	-	3	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	2										
越	39.23	-	0.25	2.75	1.63	0.25	0.13	-	0.38	-	-	0.63	-	-	-	-	-	2.00	-	2.00										
さい	1,317	1	2	47	176	12	7	1	13	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	1										
さい	32.12	0.04	0.07	1.74	6.52	0.44	0.26	0.04	0.48	-	-	0.41	-	0.13	-	-	-	1.00	-	1.00										

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く
2月 14日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第6週 平成29年2月6日～平成29年2月12日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	8,856	16	91	287	335	436	554	528	568	587	611	479	1,561	381	357	543	524	376	298	203	121
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
RSウイルス感染症	25	3	6	10	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	31	-	2	10	10	2	2	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	340	-	-	8	13	23	52	41	42	29	44	25	46	5	12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	760	2	35	87	70	65	73	75	51	39	42	25	105	18	73	-	-	-	-	-	-
水痘	56	1	2	4	4	5	4	8	9	7	3	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	14	-	1	7	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	-	-	1	1	1	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	47	2	14	27	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	67	-	-	-	4	6	8	14	8	4	7	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
急性出血性結膜炎	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	1	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	1	2	1	1	1	1
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	2	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	37	1	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	24	24

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 4週

(1月23日～1月29日)

平成29年2月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(59.08)、福岡県(55.10)、愛知県(54.68)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,588例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(61例)、1～9歳(267例)、10代(66例)、20代(14例)、30代(27例)、40代(34例)、50代(41例)、60代(141例)、70代(293例)、80歳以上(644例)であった。

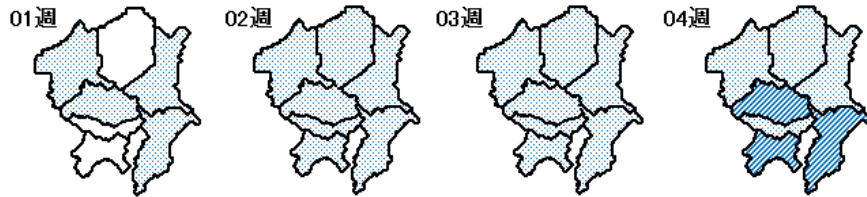
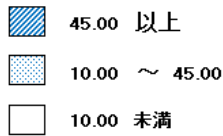
RSウイルス感染症の報告数は1,121例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.93)、新潟県(0.72)、宮崎県(0.72)、山梨県(0.67)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(6.17)、鳥取県(5.84)、長崎県(4.73)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(24.86)、新潟県(12.79)、石川県(12.76)である。水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.81)、山形県(0.73)、鳥取県(0.68)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は熊本県(0.84)、宮崎県(0.81)、鹿児島県(0.55)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.65)、宮崎県(0.39)、福島県(0.37)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は新潟県(2.24)、鹿児島県(2.18)、山口県(2.15)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(1.63)、福島県(1.00)、山口県(1.00)、新潟県(0.92)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。22都道府県から46例報告があり、年齢別では0歳(9例)、1～4歳(29例)、5～9歳(5例)、10代(1例)、20代(1例)、60代(1例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(51.68)、千葉県(51.40)、神奈川県(49.49)からの報告が多い。

インフルエンザ



		平成29年 04週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	195,501	66,078	3,822	1,737	3,101	13,074	11,050	16,073	17,221
	定点当たり	39.41	43.42	31.85	22.86	32.64	51.68	51.40	38.73	49.49
RSウイルス感染症	報告数	1,121	112	7	5	7	29	15	24	25
	定点当たり	0.35	0.12	0.09	0.10	0.12	0.18	0.11	0.09	0.12
咽頭結膜熱	報告数	976	181	12	4	27	39	10	60	29
	定点当たり	0.31	0.19	0.16	0.08	0.47	0.25	0.07	0.23	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,852	2,187	218	76	144	410	440	487	412
	定点当たり	2.17	2.30	2.91	1.58	2.48	2.59	3.26	1.87	1.91
感染性胃腸炎	報告数	20,117	5,043	371	151	312	893	635	1,608	1,073
	定点当たり	6.36	5.30	4.95	3.15	5.38	5.65	4.70	6.16	4.97
水痘	報告数	1,087	327	30	9	15	72	38	85	78
	定点当たり	0.34	0.34	0.40	0.19	0.26	0.46	0.28	0.33	0.36
手足口病	報告数	542	88	7	2	23	13	18	14	11
	定点当たり	0.17	0.09	0.09	0.04	0.40	0.08	0.13	0.05	0.05
伝染性紅斑	報告数	292	74	5	-	6	8	13	27	15
	定点当たり	0.09	0.08	0.07	-	0.10	0.05	0.10	0.10	0.07
突発性発しん	報告数	1,153	339	21	15	27	45	44	112	75
	定点当たり	0.36	0.36	0.28	0.31	0.47	0.28	0.33	0.43	0.35
百日咳	報告数	25	3	1	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.00	0.01	-	-	-	-	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	99	9	-	-	3	1	2	2	1
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	0.05	0.01	0.01	0.01	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1,878	319	20	6	17	68	32	68	108
	定点当たり	0.59	0.34	0.27	0.13	0.29	0.43	0.24	0.26	0.50
急性出血性結膜炎	報告数	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	338	137	11	13	9	20	22	12	50
	定点当たり	0.49	0.67	0.65	1.08	0.64	0.50	0.63	0.31	1.04
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	15	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.03	-	-	-	-	0.10	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	241	37	4	-	13	3	6	8	3
	定点当たり	0.51	0.45	0.31	-	1.63	0.30	0.67	0.32	0.30
クラミジア肺炎 #3	報告数	10	5	-	-	-	1	-	4	-
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	0.10	-	0.16	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	46	11	-	-	2	-	-	4	5
	定点当たり	0.10	0.13	-	-	0.25	-	-	0.16	0.50

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第6週

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)

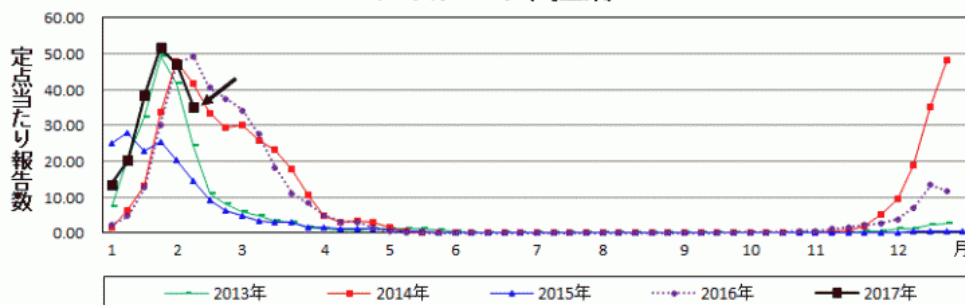
感染症の流行状況 2017年 第6週

2017年第6週（平成29年2月6日～2月12日）の要点 平成29年2月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週より減少しましたが、依然、多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	↓	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン